

# 全日本実業柔道連盟創立五十周年記念 労働大臣杯 争奪第50回 全日本実業柔道団体対抗大会報告書

新日鐵が2年ぶり29度目、  
女子はコマツ6年ぶり復活

全日本実業柔道連盟創立五十周年記念労働大臣杯争奪第50回全日本実業柔道団体対抗大会は、6月10～11日の2日間にわたり神戸市須磨区の神戸市総合運動公園内グリーンアリーナ神戸で盛大に開催された。

本大会の神戸市での開催は、あの大震災の翌年の平成8年に「ガンバレ神戸」阪神淡路大震災復興祈念大会」をスローガンに開催してから5年目を迎え、本年度最後の開催となった。なお、本大会の参加チーム数は男子100、女子18の計118チームであった。初日は男子第二部(31チーム)で今年第三



開会式であいさつする山口信夫会長

部から昇格したばかりの平成管財Aがセコムを代表戦で下し見事初優勝を決めた。女子第二部も肥後銀行がセコムを1-0で破り、予想通りの初優勝を飾った。

最終日の男子第一部(12チーム)は、新日鐵Aと日本道路公団が逆転―再逆転と激しい展開の末、大将戦で新日鐵A飛塚が一本勝ちを決め、3-2で2年ぶり通算29度目の優勝を手にした。日本道路公団は2年連続2位に泣き、今年もVは夢に終わった。前回の覇者・旭化成Aは準決勝でライバル新日鐵Aに苦杯を喫した。

同第三部(57チーム)も平成管財が3-2で愛メディカルを退け、前日の第二部に引き続き優勝を決めた。

女子の第一部(5チーム)は、初日に続く総当たり戦の結果、コマツが3勝1敗勝ち点13点を挙げ、6年ぶり3度目の王座に返り咲いた。2位のミキハウスは同率だが勝ち点10点のため、長蛇を逸した。

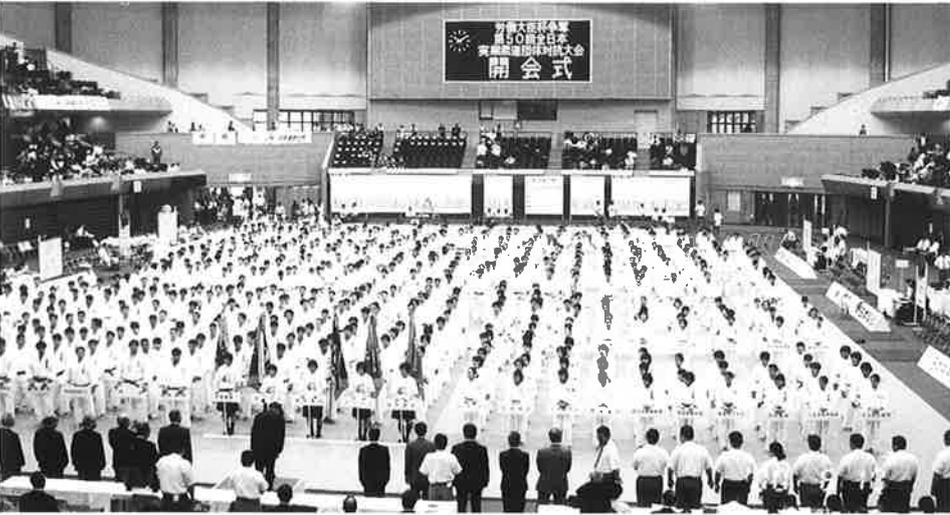
恒例の年間最優秀選手は、永野重雄杯に篠原信一5段(27)、旭化成)、宮崎輝杯に榎崎教子女子3段(27、ダイコロ)が、それぞれ

れ受賞した。篠原は、'99パーミングム世界選手権の100kg超級・無差別級の二階級を制した。榎崎は同じく52kg級優勝。ちなみに篠原は2年連続2度目、榎崎は独身時代の初受賞から4年ぶり2度目の受賞となった。10日夜の全日本実業柔道連盟創立五十周年記念祝賀会(新神戸オリエンタルホテル)が盛大に開催された。また、その中で連盟所属のシドニーオリンピック代表選手9名(男6、女3)役員3名計12名の壮行会が開かれ、約200人の出席者から盛んな拍手が送



平成11年度最優秀選手賞を受賞した篠原信一・榎崎教子両選手

られた。  
なお、第51回大会は会場を米子市(鳥取県)に移して行われる。



開会式 グリーンアリーナ神戸に整列した精鋭

# 男子第一 部

## 鉄の軍団、 2年ぶり燃えた

初めての決勝顔合わせ。新日鐵はオリンピック代表の吉田秀彦が欠場のため、メンパ―的にはほぼ互角。勝負の結果は予断できない。

日本道路公団先鋒・三宮は、長身の井上に対し組み手を嫌い、終始守りを固める。1分半過ぎに指導を受け、その後すぐに井



飛塚の大外刈 見事に決まる

上の大内刈りで有効を奪われる。残り40秒で注意、12秒に場外逃避の警告。更に消極的な三宮に残り4秒審判合議の結果は反則負け。これは最悪のスタート。

しかし次鋒、中堅戦では日本道路公団が逆転リードした。次鋒戦ベテラン養父の得意技、支え釣り込み足を浦田「心得たり」と朽木倒しに返せば効果のポイント。このあと両者、技ありを1つずつ、ラストは双方指導で終了。結果は浦田の効果が残った。続く中堅戦は湊谷の仕掛けた技を待ち構えた田村が豪快なすくい投げを決めた。準決勝で見事な大外刈りを決めた湊谷は不覚の一敗。

さて、ここからが伝統の底力、奮い立った新日鐵増地が深川を追い込む。スタミナ消耗の深川苦しまぎれの掛け逃げ指導、注意。このあと増地、見事な内股一本で2同点ながら内容では再逆転だ。大將戦、日本道路公団の至宝・三谷が登場、だが様子が変だ。明らかに足を痛めている。1分過ぎ双方指導から新鋭飛塚、大外刈で効果、残り2分12秒、組みぎわの大外刈り見事に決まる。不況、鉄冷えの折柄、鉄の軍団は2年ぶり真紅に燃えた。

旭化成Aは準決勝で涙をのんだ。世界最強の篠原が参戦していたら、それだけで戦局を左右する威圧になったことは間違いない。その落差を高橋、下出の健闘で埋めたが、全体にトーンダウンの印象は否めなかった。

### 優勝監督コメント

新日鐵A 甲斐康浩

準決勝で旭化成に勝って気分よく決勝へ行ったというのが正直な気持ち。これで吉田も気持ちよくオリンピックに行ける。吉田抜き試合なので、かえって全体のチー

ムワークが固まったのではないかと思う。吉田がいると、どうしても頼ってしまうし……。皆よく頑張ってくれた。増地が反則勝ちを狙わず、一本取りに行ったことで飛塚にも勢いがついた。大將戦を引き分けても勝てるのに、取りに行く姿勢が良い。飛塚のような1年生は普通は前に持って行くのだが、万が一もつれた時に追い込み利くのは飛塚かな！と乗るかそるかのオーダーが当たった。

就任2年目初V、最高です。



2年ぶり優勝の新日鐵Aチーム



# 男子第二部

## 代表戦で巴投げ 平成管財Aの秋山

初日の二部の決勝が、盛り上がった。力と力、技と技の限りを尽くし、代表戦にまでもつれ込んだ。

先鋒戦でセコム・中田が大内刈り効果で先取すると、次鋒は平成管財A・秋山が巴投げ効果でタイとした。中堅戦は両者攻めあぐんで双方反則負けのため戦局動かず。副将戦は、まず丸山の横巴投げ奇襲に姜の巨体落ちて効果。だが、このあと60kg上回る体格で圧倒する姜に押されて丸山組めな。たちまち指導でタイ、残り49秒で注意と逆転負け。1-2で迎えた大將戦、セコム・廣川の関節技―朽木倒しなど積極攻撃から谷本の払い腰を返せば有効となって2-1同点。

代表戦に、だれを出すか？満場注目のうちセコムは廣川。フルタイム戦い終わったばかりの連続出撃は大丈夫か―。一方、平成管財Aは次鋒・秋山で、3試合分の休息で体力回復が来ている。廣川、疲れも見せず攻めたが3分23秒、秋山得意の巴投げ鮮やかに決まり、大接戦にピリオドを打った。

平成管財は昨年の三部優勝だが、村田や古賀が抜けたハンディをよく補強で切り抜けた。

### 優勝監督コメント

平成管財A 井上晃一

代表戦は中田君が出てくるかな、と思っていた。秋山は足を痛めていたので大外刈り、内股、大内刈りを使えなかったが、得意の巴投げが冴えていた。さすがに'97年全日本学生体重別71kg2位の實力を發揮してくれた。姜は秋山が誘って入社した。6月末に韓国のオリンピック最終選考会があるので是非頑張つて欲しい。



第二部優勝の平成管財Aチーム



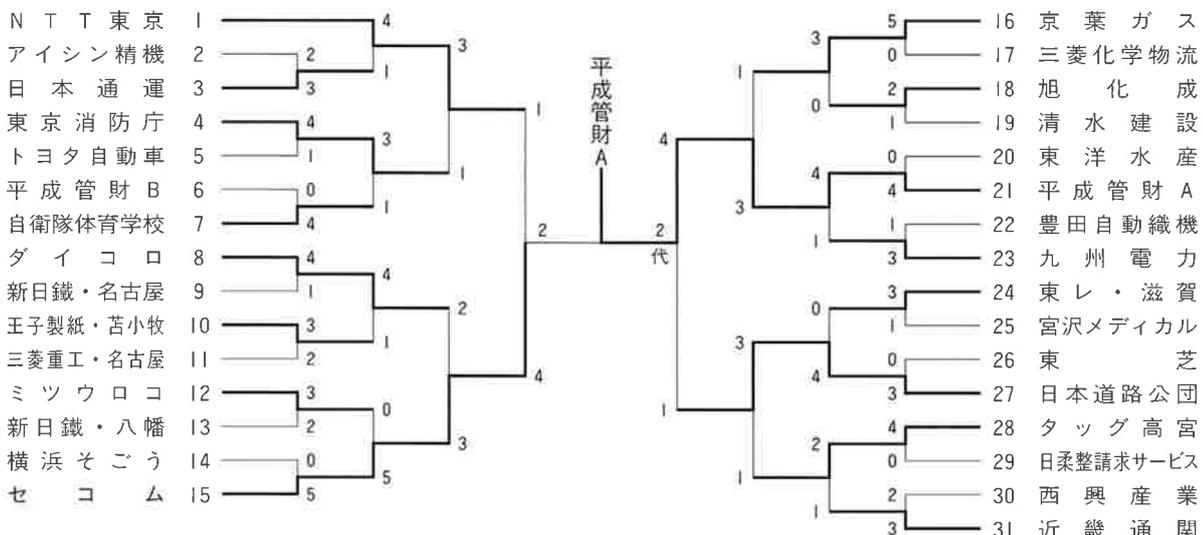
秋山の巴投げ見事に決まる

### 【決 勝】

- セ コ ム 2-② 平成管財A  
 ⊕中田善久 3段 大外刈 高岩 功 3段  
 古田昌直 3段 巴 投 秋山成勲 3段⊖  
 梅谷哲也 3段 —×— 水口清吾 2段  
 丸山昌孝 3段 注 意 姜 乘辰 3段⊖  
 ⊖廣川充志 3段 小外刈 谷本竜孝 3段  
 廣川充志 3段 巴 投 秋山成勲 3段⊖

### 男子第二部成績表

優勝 平成管財A 第3位 NTT東京  
 準優勝 セ コ ム 第3位 日本道路公団  
 以上の4チームは次年度第一部に昇格する



# 男子 第三部

## ここでも平成管財

前半1-2とリードされた平成管財の逆転勝ち。愛メディカルAは未だ新しいチームでなじみは薄いですが、決勝進出は見事。先鋒・本田が燕返しで効果を取り、次鋒は固め技で一本負けしたものの中堅・中谷が双方注意から残り2分49秒警告、さらに追い込んで李に反則勝ち。

副将戦から平成管財の反攻開始。まず永田の足払いが連続さく裂して奈良戦意に響く。痛む足をかばって奈良が場外に出て注意を受ける。最後は永田に指導、奈良に警告となつて2-2の同点。大将戦でも双方注意から小林が警告を奪い、大西あせつて出るところを2分20秒大外刈り一本で決着をつけた。

### 優勝監督コメント

平成管財 井上晃一

目標は二部、三部とも優勝することだった。達成できてうれしい。今年はチャリダー抜きで100人も応援に来てくれたし……決勝までの5試合を無失点、危なげなかった。でも団体戦は何が起きるか分からない。決勝だけは3-2の大接戦になつてしまった。

さすがに決勝に上がってくる所は強い。うちは小林が4月から入社して戦力増強になった。来年は一部1チーム、二部2チーム出すことになるが、全力でぶつかってほしい。



第三部優勝の平成管財チーム

### 【準決勝】

県南重機 A 1-3 愛メディカル A  
O J J A 0-5 平成管財

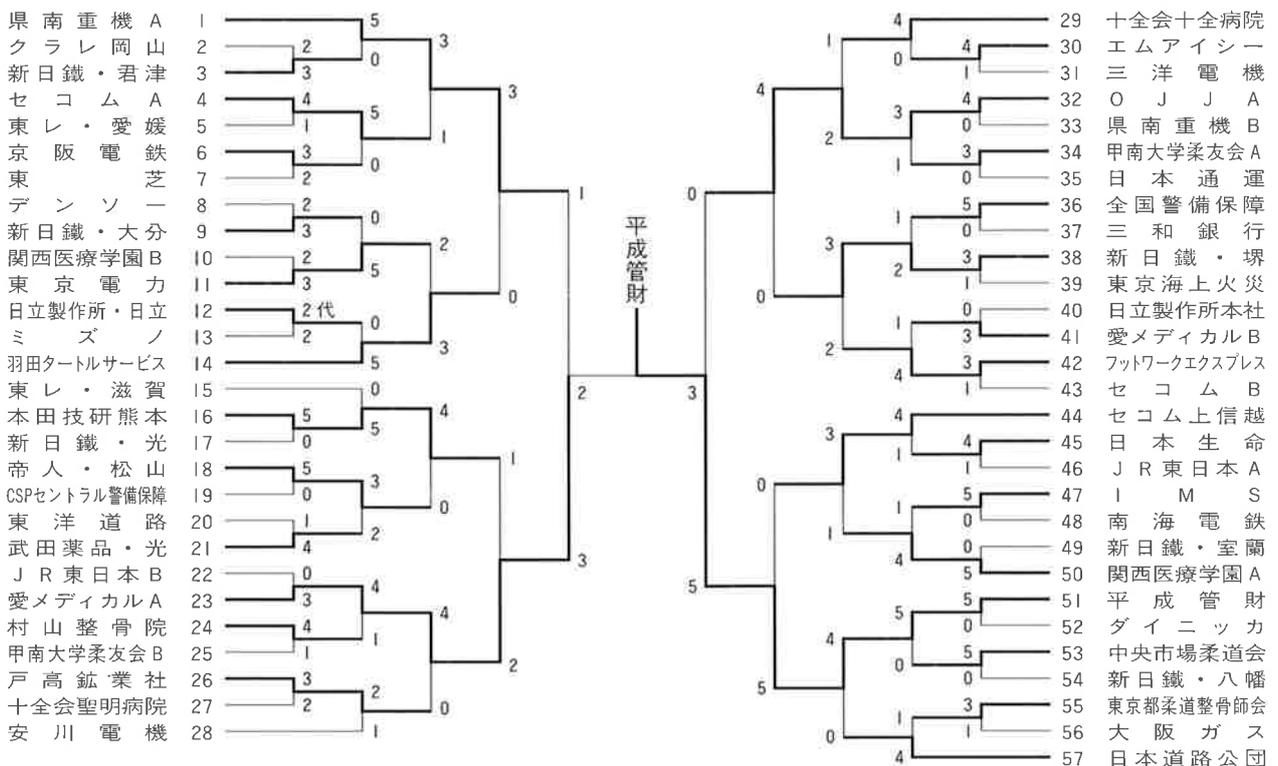
### 【決勝】

愛メディカル A 2-3 平成管財  
⊖本田勝隆 3段 燕返 今里 満 3段  
森川雄策 2段 横四方固 伊藤 勇 2段⊕  
⊕中谷 弘 4段 反則勝ち 李 俊勲 3段  
奈良智之 3段 警告 永田尚道 2段⊖  
大西 貴 3段 大外刈 小林広幸 4段⊕

### 男子第三部成績表

優勝 平成管財 第3位 県南重機 A  
準優勝 愛メディカル A 第3位 O J J A

以上の4チームは次年度第二部に昇格する



# 女子第一部

## コマツ3勝1敗で優勝

コマツの完全優勝は成らなかったが、ミキハウスとの最終戦に敗れはしたものの勝ち点差で1位が決まった。ミキハウスが5-0でダイコロに勝つても1点差でコマツが上位」と報道陣に言われ、曇っていた松岡監督の表情が歓喜に一変した。

コマツは初日の住友海上戦で2-2からの大將戦で栗原が裏投げ一本勝ちした。住友の新人・吉田には荷が重い大試合であったかも知れない。前年の高校総体優勝校、市立柏出身の吉田は、これにくじけず経験を重ね、大成されんことを望みたい。

最終日、コマツが二部から昇格した塩谷建設に初黒星を付けたのが大きかった。塩谷建設は初日のミキハウス戦、ダイコロ戦に連勝して勢いを示した。この勢いに乗って塩谷建設が優勝をさらうのではないのか？ そういう気持ちがないでもなかった。しかしながら、第一部優勝のカベは厚く、塩谷建設の最終日は連敗で4位に後退した。

8試合目のコマツミキハウス戦が事実上の決勝だった。前年、この大会で中市に腕がらみ一本負けした天尾が今回は強引に奥えりを取って相手の頭を下げさせ、消極性指導に注意を奪うというパターンで作戦勝ちした。2-2の大將決戦は、ミキハウス・植田の激しい猛攻に栗原たじたじとなり、残り1分4秒場外逃避の警告を取られて負けた。

コマツは重量級の二宮美穂の欠場は大きな戦力ダウンであった。今大会、男女を問わずオリンピック代表は全員欠場したが、過去の例から負傷予防など大事を取ったも

のだ。前年優勝したダイコロのキャリア・ブライアント(英国)も姿を見せなかった。しかし、アトランタ大会66kg金メダルの曹敏仙(韓国)がミキハウスに5月入社、4戦全勝と大活躍していた。3位になった住友海上では茂木と木本が全勝をマークした。

### 優勝監督コメント

コマツ 松岡 義之

本当は全勝ですっきりと勝ちたかった。去年もミキハウスに逆転負けしている。とにかく自分がお世話になった(元兵庫県警)神戸で勝つてよかった。コマツに入社当時は指導者として色々苦労したが、いいムードができてきた。今回はオリンピック代表の座を逸した山田が精神的に強くなってチームに貢献してくれた。



寝技で攻める山田



女子第一部優勝のコマツチーム

### 【優勝までの対戦成績】

#### 第1試合

コマツ	3-2	住友海上
○山田真由美	2段 大外刈	横澤由貴 2段
大塚雅子	2段 大内刈	茂木仙子 3段○
山口 瞳	2段 崩上四方	木本奈美 3段○
○天尾美貴	2段 合わせ技	貝山仁美 2段
○栗原美幸	初段 裏投	吉田亜沙美 初段

#### 第2試合

コマツ	5-0	ダイコロ
○山田真由美	2段 出足払	植田庸子 3段
○武田淳子	2段 大外刈	永井和恵 3段
○小取美輪	2段 小外刈	藤本哲子 3段
○天尾美貴	2段 内股	柳田恭子 3段
○栗原美幸	初段 大外刈	柳花美鈴 2段

#### 第3試合

コマツ	3-2	塩谷建設
○山田真由美	2段 指導	松本貴子 3段
○武田淳子	2段 注意	磯崎祐子 2段
山口 瞳	2段 大外刈	佐野奈津子 2段○
○天尾美貴	2段 内股	篠原啓子 2段
栗原美幸	初段 払腰	室谷美紀 2段○

#### 第4試合

コマツ	2-3	ミキハウス
○山田真由美	2段 横四方固	南 千草 2段
大塚雅子	2段 大内刈	岡崎綾子 2段○
小取美輪	2段 横四方固	曹 敏仙 4段○
○天尾美貴	2段 注意	中市陽子 2段
栗原美幸	初段 警告	植田裕子 3段○

### 女子第一部成績表—<リーグ戦>

	コマツ	住友海上	ミキハウス	塩谷建設	ダイコロ	勝 負 引分け	順位
コマツ	-	③-②	2-③	③-2	⑤-0	3勝1敗	優勝
住友海上	2-③	-	2-③	③-2	③-1	2勝2敗	3位
ミキハウス	③-2	③-2	-	1-②	③-2	3勝1敗	2位
塩谷建設	2-③	2-③	②-1	-	③-0	2勝2敗	4位
ダイコロ	0-⑤	1-③	2-③	0-③	-	0勝4敗	5位



# 全日本実業柔道連盟創立五十周年記念祝賀会開催さる

6月10日(土)18時より新神戸オリエンタルホテル真珠の間において、全日本実業柔道連盟創立五十周年記念祝賀会が盛大に開催された。当日は労働省の澤田労政局長、(財)全日本柔道連盟の嘉納会長をはじめ、ご来賓の方々や連盟役員、会員企業、並びにシドニーオリンピック代表選手など総勢200余名の参加があり、連盟の半世紀を祝うにふさわしい盛り上がりを見せた。祝賀会は山口会長の挨拶に始まり、嘉納全柔連会長の祝辞、記念表彰、鏡開きと進み、松下全柔連専務理事の乾杯の音頭で祝宴に入った。祝宴の中でシドニーオリンピックの壮行会が行われ、当連盟所属の代表選手団役員3名選手9名に山口会長から激励金が手渡されると、上村副団長より「野村と田村で勢いをつけて、篠原で締めくくると」と力強い決意表明がされた。その後、和やかな歓談の後に米澤三郎副会長の発声による万歳三唱でお開きとなった。

## 【記念表彰受賞者】

### ○感謝状

神戸市、尼崎市、兵庫県柔道連盟、(財)大崎企業スポーツ事業研究助成財団、朝日新聞社、読売新聞社

### ○功労賞

三和機工株式会社、ダイコロ株式会社、新日本製鐵株式会社、旭化成工業株式会社



力強い鏡開き



松下全柔連専務理事の音頭で乾杯

## シドニーオリンピック代表選手 (当連盟在籍者)

男子100kg超級



篠原 信一  
(旭化成工業)

男子90kg級



吉田 秀彦  
(新日本製鐵)

男子81kg級



瀧本 誠  
(日本中央競馬会)

男子73kg級



中村 兼三  
(旭化成工業)

男子66kg級



中村 行成  
(旭化成工業)

女子70kg級



上野 雅恵  
(住友海上火災保険)

女子52kg級



檜崎 教子  
(ダイコロ)

女子48kg級



田村 亮子  
(トヨタ自動車)

男子60kg級



野村 忠宏  
(ミキハウス)

発行日 2000年7月15日  
 発行人 全日本実業柔道連盟  
 取材協力 ジャーナリスト 宮澤正幸  
 印刷 ダイコロ株式会社